

海軍火薬廠

海軍火薬廠第一工場成形場



海軍火薬廠

明治38年、平塚町及び大野村にまたがる地域に設立された日本爆発物製造会社は、大正8年海軍が買収し、新たに海軍火薬廠として発足しました。

火薬廠は、昭和14年の海軍火薬本廠、昭和16年の第二海軍火薬廠と改称を遂げながらも、大戦末期、火薬製造能力約9000觔/年を誇る国

内有数の火薬製造工場として位置づけられます。

昭和20年の敗戦により廃廠され40年、ここ平塚に火薬廠があった事実も忘れ去られようとしています。

火薬廠に関する資料の展示を通して、今一度、火薬廠を思い起こしてみたいと思います。

回	期間	テーマ	展示資料	点数
第78回	8.1~9.25	海軍火薬廠	写真パネル(各代廠長写真他)、契約書、工員印鑑、身分証明書、勲記、銀時計、保温缶、焼夷弾他	100点